

オール鹿児島高校選抜の奮闘

鹿児島県代表として臨んだ今回の遠征。チームにとって、そして選手個人にとっても大きな収穫となった。

プロのコーチによる強化コーチング

28日から3日間にわたりオール鹿児島は、「スーパー14」のウェスタンフォースのコーチからコーチングを受けた。教わる内容は基本的な部分で日本でやってきたこととそんなに大差はなかったようだが、反復されたディフェンスの練習は、選手たちに基礎の大切さを実感させた。また練習のやり方や選手達への練習の取り寄せ方には、鹿児島から来た日本のコーチ陣には大いに勉強になったようだった。コーチングに当たった Dwayne Nestor ジュニアエリートコーチ(右上写真中央)は、「オーストラリアの子どもたちに比べ体格差はあるようでしたが、シャープで早い選手がたくさんいました。みんな良いプレーをしていましたよ」と練習後に鹿児島選抜への印象について語った。



スーパー14観戦

28日、オール鹿児島は世界最高峰とまで言われているリーグの試合をスタジアムで観戦した。この日は、パースに本拠地を置くウェスタンフォースと南アフリカのチーム、ストーマーズとの試合が行われた。選手たちは、2万4000人も観客が作る熱気溢れる雰囲気を感じながら、そこでプレーする選手たちの最高のパフォーマンスを目に焼き付けていた。残念ながら、選手たちが応援したウェスタンフォースは、16対32で惜敗した。

地元クラブチームとの交流試合

29日は、SwanbourneのAssociates Rugby Union Football Club (Under 16)と、翌日は西オーストラリア(WA)州高校選抜チームとの交流試合が行われた。オール鹿児島は、初戦のA.R.U.F.C.との対戦で審判の笛や英語の指示に戸惑うシーンもあったが、後半から徐々にリズムを取り直し、相手のトライ4つに対して1つ上回る5つのトライを挙げた。そして、翌日のWA州高校選抜チームとの試合では、相手のトライ4つに対して2つのトライを挙げた。格上の相手に互角の試合運びをした選手たちは、一様に何かを得たと実感したようだった。



西オーストラリア州政府観光局主催の夕食会

29日の夜、パース市内のレストランにて、西オーストラリア州政府観光局主催の夕食会が催された。この遠征中に誕生日を迎えた2人の選手にはサプライズでケーキが出さるなど、チームは和やかな時間を過ごした。

パースへの歓迎の挨拶する西オーストラリア州政府観光局のTrade Marketing Director、Rowden Sharpe氏(右写真中央)と同局日本局長の吉澤英樹氏(同写真左)、熊谷勝行遠征団長(同写真右)。



パース市長表敬訪問

遠征団一行は帰国当日の朝、Lisa Scaffidi パース市長を表敬訪問した。熊谷団長は「今回がパース市と鹿児島市との初のスポーツ交流となったが、ぜひ来年はパースのチームが鹿児島市を訪れて頂きたい」と話し、更に交流が深まることを望んだ。



熊谷勝行遠征団長と Lisa Scaffidi パース市長

